

「欧州の研究マネジメント専門家から学ぶ 国際連携研究で求められるスキルと役割」

共催：東京大学政策ビジョン研究センター・大学と社会に関する研究ユニット
JETROアジア経済研究所

「国際連携研究は正直どうやって進めればいいのか？」海外と連携した研究事業の重要性が高まる中で、研究自体や研究推進の支援を実際どう進めればいいのか知りたいというニーズが研究者そして研究マネジメント人材の中で高まっています。今回、オランダから国際連携研究や外部資金獲得のコーディネーター、戦略策定を長年行ってきた研究マネジメント専門家を招き、欧州の国際連携研究や研究助成の動向をお話頂くとともに、これまでの取り組み事例や課題とその克服ポイントについてお聞きます。日本と欧州それぞれの研究連携における問題事例、成功例などを知ることで、今後研究者および研究マネジメント人材が、海外との共同研究にどのように取り組むべきかを考え、更に実践へのきっかけを作ります。

日時：2016年3月9日(水) 9:30 - 12:30 (開場 9:00)

会場：東京大学 弥生講堂アネックス・セイホクギャラリー

言語：日本語／英語(同時通訳)

- ・ 9:30 - Opening Remarks
 坂田一郎 [Ichiro Sakata]
 東京大学政策ビジョン研究センター長、工学系研究科教授、総長特任補佐

- ・ 9:40 - Session 1 研究連携をとりまくヒト・モノ・コト：EUのケース・日本のケース

 EUのケース：「国際連携研究への“ウィキッド”な挑戦とその可能性について」
 マルヨライン・ファン・グリータイゼン [Marjolein van Griethuysen]
 Global Scientific Business Innovations 代表

 日本のケース：
 「異セクター・異分野間の連携研究による価値創造を目指して —その陥穽と克服への道程—」
 伊藤正実 [Masami Ito]
 群馬大学産学連携・共同研究イノベーションセンター教授
 研究支援人材育成コンソーシアム室室長・元産学連携学会長

- ・ 11:05 - Session 2 パネルディスカッション：“現場”から見る国際連携研究の実際

 パネリスト：

 EUの視点：
 トム・クチンスキー [Tom Kuczynski] EU駐日代表部 科学技術部科学アドバイザー
 マシュー・ピー [Matthieu Py] EURAXESS 日本担当

 日本の視点：
 西村 薫 [Kaoru Nishimura] 東京大学生産技術研究所URA(特任専門員)
 佐々木晶子 [Akiko Sasaki] 日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研所

 コメント：マルヨライン・ファン・グリータイゼン

 インタビュアー：村上壽枝 [Toshie Murakami]
 東京大学政策ビジョン研究センター特任専門職員・URA

- ・ 12:15 - まとめ・閉会



マルヨライン・ファン・グリータイゼン
Marjolein van Griethuysen

Global Scientific Business Innovations 代表

エラスムス大学 European Affairs and Innovation Office元所長。

オランダ外務省、ユトレヒト大学講師、オランダ政府社会福祉環境省を経て2008年から2015年までエラスムス大学勤務。

オランダ政府経済・農業・イノベーション省アドバイザー (Horizon2020)、2016年よりEARMA (European Association of Research Managers and Administrators) 役員。



村上 壽枝 Toshie Murakami
東京大学 政策ビジョン研究センター

2008年から東京大学のシンクタンクである現センターで組織運営の戦略や発信サポート、Post-award、Pre-awardに従事。2012年、文部科学省のURAスキル標準の策定にも関わる。CSTIや第5期科学技術基本計画策定等の審議会委員も支援。修士 (大学アドミニストレーション)



トム・クチンスキー Tom Kuczynski
駐日EU代表部
科学技術部アドバイザー

ポーランド出身。2006年より2012年まで在日ポーランド大使館一等書記官として科学、工学、イノベーション、エネルギー、気候変動問題を担当。2012年から駐日EU代表部にて科学技術部のアドバイザーとして日EU間での連携研究を担当している。広島修道大学博士 (経済学)。

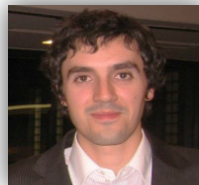
伊藤正実 Masami Ito

群馬大学産学連携・共同研究イノベーションセンター教授

東京工業大学大学院

博士後期課程修了。博士 (工学)。

2009年より現職、首都圏北部4大学連合 (4u) 事務局長、2015年まで特定非営利活動法人産学連携学会会長。2015年より群馬大学研究支援人材育成コンソーシアム室の室長及び「多能工型」研究支援人材育成コンソーシアム」運営協議会委員、研究支援人材育成評価委員会委員長。



マシュー・ピー Matthieu Py
EURAXESS 日本担当

2008年仏ENSPG (現PHELMA) と京都大学で材料工学修士。2011年仏原子力庁・電子情報技術研究所で博士取得。

京都大学でポスドク後、在日仏大使館科学技術部に所属し、2014年から現職。

日欧間の共同研究 & 研究者移転プロジェクトを積極的サポート。仏アヴィニヨン出身。

坂田一郎 Ichiro Sakata

東京大学政策ビジョン研究センター長、工学系研究科教授、総長特任補佐

1989年、東京大学経済学部卒業。

ブランダイス大学国際経済・金融学修士、東京大学博士 (工学)。経済産業省 (現在は退官) を経て、2013年より現職。

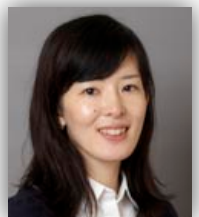
政策ビジョン研究センター兼務、工学系研究科総合研究機構イノベーション政策研究センター長。

(元) 国家戦略会議叡智のフロンティア部会委員、復興庁参与。ERIA (東アジアASEAN経済研究センター) エネルギー効率化ロードマッププロジェクト代表。



西村薫 Kaoru Nishimura
東京大学生産技術研究所URA (特任専門員)

東京出身。京都大学文学部、パリ第7大学応用言語学部卒業。放送大学修士 (学術)。フランス科学研究センター (CNRS) 東京事務所、日本学術振興会国際事業部勤務を経て、2014年から現職。ゲノムに関する仏語書籍の翻訳あり。



佐々木晶子 Akiko Sasaki
日本貿易振興機構 (JETRO)
アジア経済研究所

研究連携推進課 (研究マネジメント職)

国際基督教大学卒業。スウェーデン王立工科大学大学院建築環境学部卒業

(修士)。2013年より現職。研究マネジメント職として国際連携研究、企画型のメディア発信、対外国政府の政策提言等を担当。